



石田泰尚 [ヴァイオリン]

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、現在は神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ソロ・コンサートマスター、京都市交響楽団ソロ・コンサートマスター。加えて、YAMATO String Quartetや石田組をはじめとする様々なユニットで唯一無二の輝きを見せるほか、ソリストとしての顔も持つ。

日本全国で年間200公演以上の舞台に立ち、日本武道館での石田組公演8300席を完売させるなど、ヴァイオリニストとして前人未踏の領域へ挑み続ける。

最新アルバムは2025年12月にユニバーサルからリリースの『石田組2025・冬』。

使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。

Profile

渡辺雄一 [作曲・ピアノ]

2001年のデビュー以来アルバム全てが、日本と韓国で発売され、両国で多数の公演を行う。

洗練されたピアノ演奏、ロマンティックなオリジナル楽曲は、高い評価を受け、NHKドラマや、韓国ドラマでも数多く使用される。また楽曲の多くが、有線放送などに採用され、ホテルラウンジやカフェでのお洒落BGMに使用される。

石田泰尚氏のデビューCD『情熱のヴァイオリン』は2003年神奈川フィルコンサートマスターの傍ら、新しい活動を模索していた石田氏の「全曲、渡辺さんの曲なら!」で誕生したアルバムで、以降毎年リリースを重ね、全て渡辺作曲（ピアソラ数曲を除き）での3部作となり、20年以上経た今日でもベストセラーを続け、2026年6月にメジャーレーベルより再発売が決定する。

